

第 30 回全国都市緑化とっとりフェア

基本計画

【 . 会場計画】

平成 23 年 8 月 31 日

鳥取県・鳥取市

財団法人 都市緑化機構

目次

．会場計画	1
1． 会場整備計画	1
2． 植物調達監理計画	19
3． 展示・出展計画	26
4． 会場運営計画	36

・会場計画

1. 会場整備計画

(1) 基本的な考え方

世界ジオパークで開催される初の全国都市緑化フェアとして湖山池の自然豊かなランドスケープを最大限活用しながら、ナチュラルガーデンを中心に魅力的な会場を整備する。全国都市緑化フェアとして企業・団体など多彩な参加者による屋外出展作品を展開する。フェア後の緑豊かなまちづくりの継続を目指し、県民・市民が主体的に活動する場や、花や緑に触れ、まちづくりに活かす技術を学べる場を設ける。

鳥取を代表する景観資源・花き・技術・食文化など、来場者が「鳥取」を再発見・再認識できる会場づくりを行う。

都市公園事業と連携を図りながら、フェア事業による効果的な仮設会場計画を行うとともに、会場運営・催事等に使用する仮設建築物の効率化を図る。

バリアフリーに対応した良好な観賞・利用動線の整備や、日陰や木陰となる十分な休憩施設を確保し、誰もが快適に過ごせる会場づくりを行う。

フェアの仮設施設には、リサイクル材料の活用やリサイクル可能な資材の選定など環境負荷の低減を念頭に置いた会場づくりを行う。

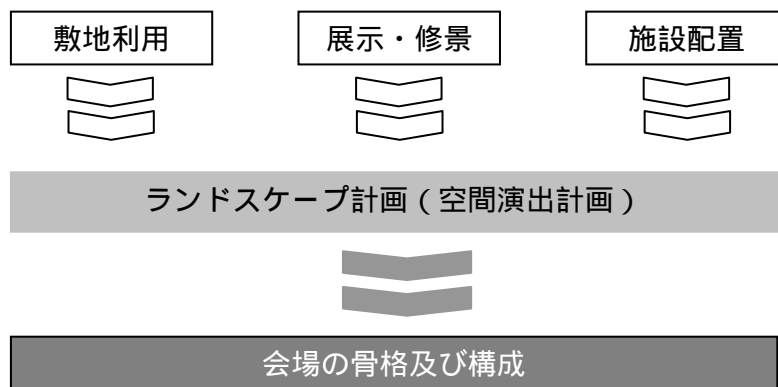
(2) ランドスケープ計画

基本的な考え方

会場は、湖山池の水面や池岸、青島存在感、遠景の山並みなど世界ジオパークにも認定された優れたランドスケープを有している。

会場計画では、この魅力を十分に活かすとともに、さらに高めアピールする必要がある。

ランドスケープ計画は、この魅力を十分に活かしつつ環境を生み出すための空間演出計画であり、会場全体の敷地利用や主たる修景・展示、施設配置等をリードするものである。



敷地利用の視点

芝生の広がりや縦断的な水際、水面、樹林等の近・中景、対岸等への眺望や山並みにおよぶ遠景を意識した魅力的な風景となる敷地利用を行う。

出展展示施設や運営・催事施設等が機能面だけでなく魅力的な風景、情景の一部となるような敷地利用とする。

展示・修景の視点

近景での樹木や草花の位置や中・遠景の見え方など常に「見どころ（視点場）」を意識した計画とする。

出展作品と樹木や草花の融合による風景や情景づくりを意識し、来場者の印象を高め、楽しめる空間演出を行う。

施設配置の視点

機能や配置場所からの景色だけで配置場所を決めるのではなく、多くの視点場からの景観を勘案した施設配置とする。

ゾーンイメージを考慮し、施設周辺の景観を補完する修景等きめ細やかな演出を行う。

(3) 会場修景計画

基本的な考え方

山陰海岸ジオパークの西端である湖山池の景観資源を高める花と緑による空間演出「風景づくり」を行う。

景色・空間の特性や今後の鳥取の緑化推進を示唆する会場修景を展開する。

郷土の植物や宿根草、多年草、球根を中心とした植物を軸に、彩り豊かな一・二年草を添えた花と緑の競演による会場修景を展開する。

植物の組み合わせや配植の手法を効果的に用いながら各ゾーンの特性に応じた美しい空間づくりを展開する。

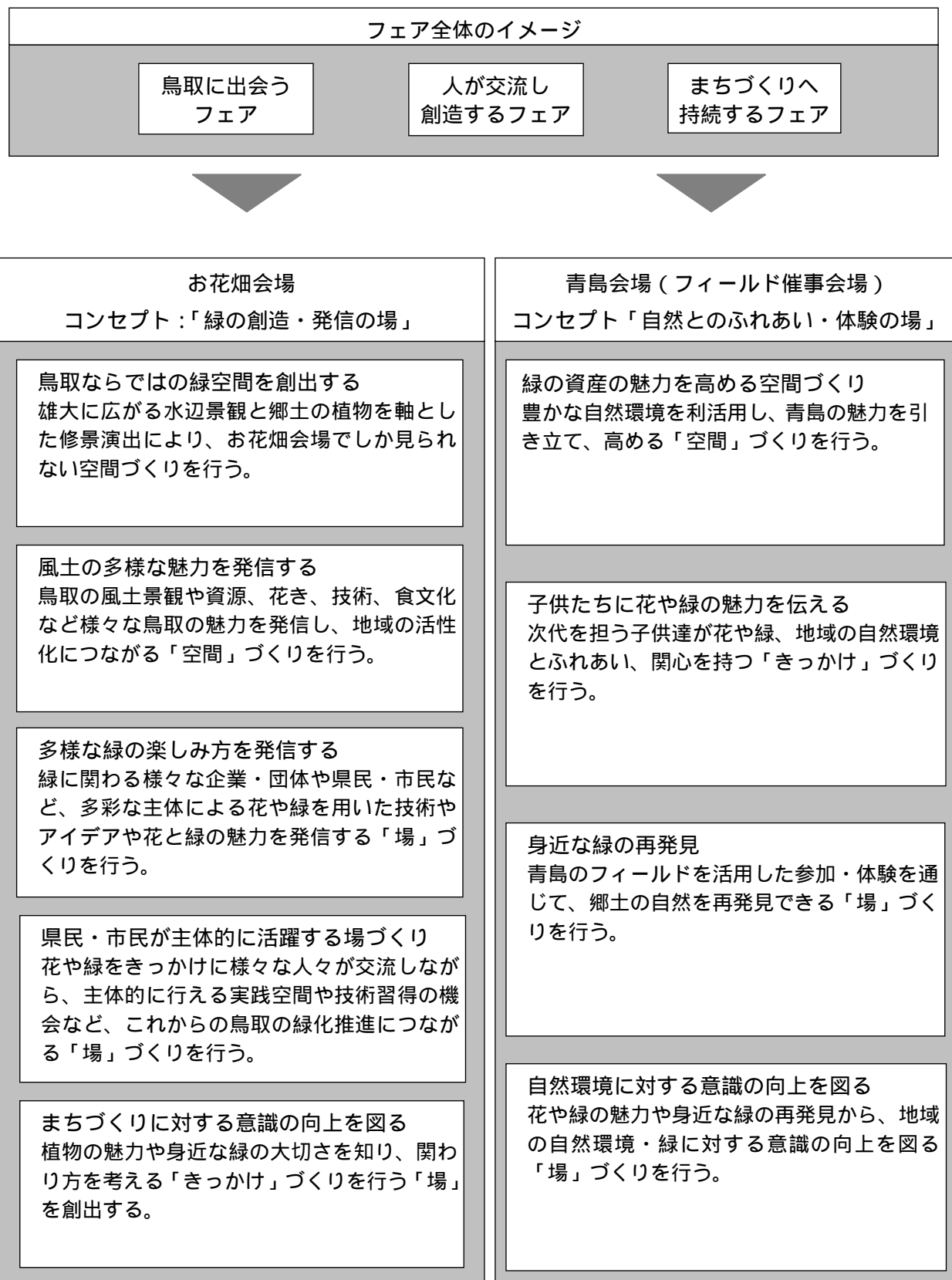
既存の施設や仮設施設にも花や緑を添え、景色の一部となる演出を行う。

会期中の演出イメージ

草花の特性（開花時期等）により自然に移り変わる植物のもつ魅力を伝える演出展開。

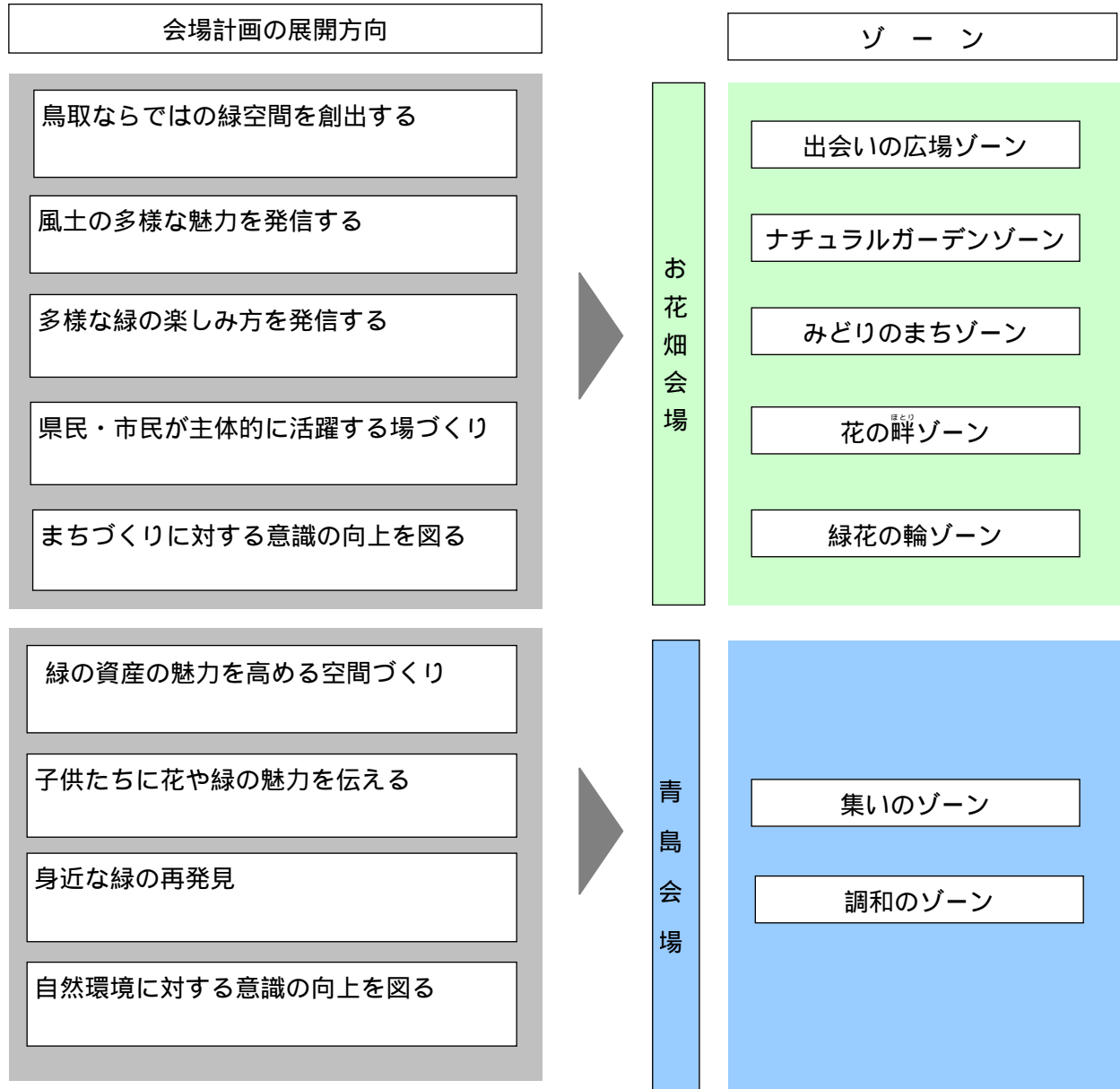
期間	演出テーマ	演出イメージ
前期	来場者をもてなす演出・フェア開催を祝う演出	早咲きの宿根草・多年草・球根類と色鮮やかな一・二年草による「もてなし」の修景・演出
中期	フェアを盛り上げ、アピールする演出	前期の植物とともに徐々に開花し始める秋咲きの宿根草・多年草・球根により風景に厚みを増す修景・演出
後期	季節の移り変わりの演出・秋らしい演出	遅咲きの宿根草・多年草・球根と前期・中期の植物による季節の移り変わりを感じさせる晩秋に向かう秋らしい修景・演出

(4) 会場の計画方針



(5) 会場のゾーン設定

会場の計画方針に基づき、お花畑会場、青島会場のゾーンを次のように設定する。



(6) ゾーンの概要

お花畑会場、青島会場における各ゾーンの概要を示す。

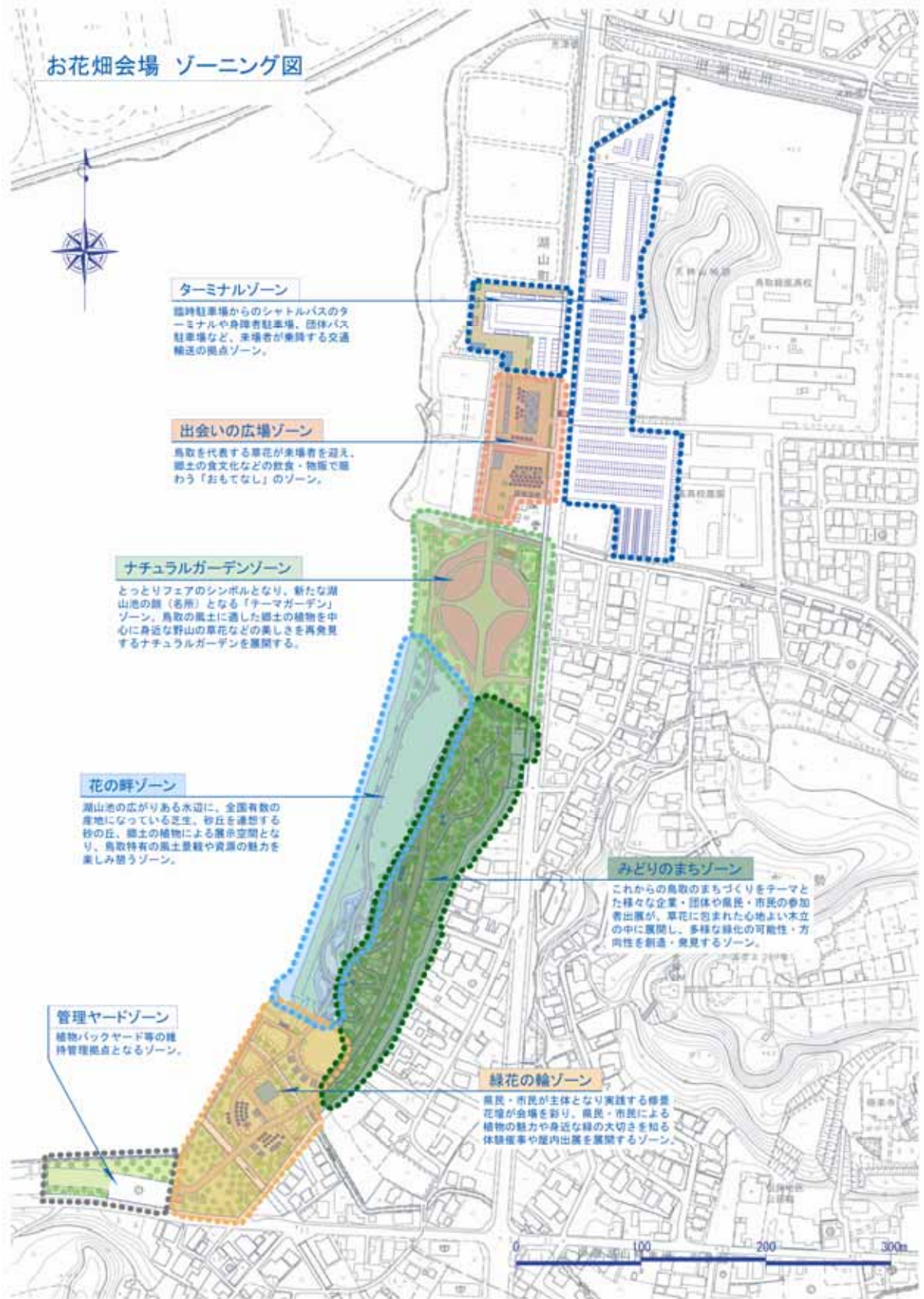
お花畑会場

ゾーン名		概要	内容
お花畑会場	出会いの広場ゾーン	鳥取を代表する秋の草花が来場者を迎え、郷土の食文化などが楽しめる飲食、物販等で賑わう「おもてなし」のゾーン。 鳥取市合併 10 周年を記念した修景花壇が出迎えるエントランスゾーン	会場運営施設 じげ市場【飲食物販】 会場修景 休養施設（仮設） 便益施設
	ナチュラルガーデンゾーン	とっとりフェアのシンボルとなり、新たな鳥取の顔（名所）となる「テーマガーデン」ゾーン。 鳥取の風土に適した郷土の植物を中心に身近な野山の草花などの美しさを再発見するナチュラルガーデンを展開する。	ナチュラルガーデン【主催者展示】 会場修景 休養施設
	みどりのまちゾーン	これからの鳥取のまちづくりをテーマとした多様な緑化の可能性・方向性を創造・発見するゾーン。 様々な企業・団体や県民・市民の参加者出展が、草花に包まれた心地よい木立の中に展開する出展空間。	みどりのまち【企業・団体、学校、県民・市民出展】 鳥取に似合う花緑【企業・団体（植物）出展】 故郷の花模様【自治体出展】 会場修景 休養施設（仮設）
	花の畔 <small>はなべ</small> ゾーン	鳥取特有の風土景観や資源の魅力を楽しみ憩うゾーン。 湖山池の広がりのある水辺に全国有数の産地となっている芝生、砂丘を連想する砂の丘、郷土の植物による魅力あふれる展示空間。	芝生と砂の庭【主催者展示】 会場修景 休養施設（仮設）
	緑花の輪ゾーン	県民・市民とともに創造し、鳥取の緑あふれるまちづくりにつながる交流の輪が広がるゾーン。 主催者、専門家のサポートのもと、県民・市民が主体となり実践する修景花壇が会場を彩り、県民・市民による植物の魅力や身近な緑の大切さを知る体験催事、屋内出展を展開する。	緑花の輪【協働展示】 神話の庭【学校出展】 グリーンスポット【協働スペース】 グリーンカフェ【飲食物販】 学びの社【参加者出展（屋内）】 会場修景 休養施設（仮設）

青島会場（フィールド催事会場）

ゾーン名		概要	内容
青島会場（フィールド催事会場）	集いのゾーン	来場者が青島会場を周遊する起点・終点となり、自然や植物、環境をテーマとした様々な情報の発信や参加体験催事、フィールド催事の拠点、交流の拠点となるゾーン。 休憩施設や飲食物販が展開する憩いと賑わいのゾーン	グリーンスポット【協働スペース】 グリーンカフェ【飲食物販】 会場修景 休養施設 ステージ
	調和のゾーン	既存の自然を活かした参加体験フィールドとして、自然の多様な魅力を体感するゾーン。	催事フィールド 休養施設（仮設）

お花畑会場ゾーニング図



青島会場ゾーニング図



(7) ゾーンイメージ

お花畑会場：出会いの広場ゾーン

構成内容	
じげ市場 【飲食物販施設】	<ul style="list-style-type: none">・鳥取の食文化の魅力発信をテーマに、郷土の食べ物や物産を基本とした飲食物販施設とする。・開催期間を通して営業するエリアと土日など期間を限定したエリアに区分し、幅広い飲食物販を展開する。
会場修景	<ul style="list-style-type: none">・来場者の「もてなし」をテーマに郷土の草花と色鮮やかな草花による既存樹木を活かした修景や鳥取市合併 10 周年を記念する修景花壇を展開する。
会場運営施設	<ul style="list-style-type: none">・会場運営の拠点となる総合案内所、入場券を販売する券売所を設ける。・各種案内機能のほか車椅子の貸し出し、授乳室、救護室等の各種サービス機能をもつ運営施設とする。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none">・休憩と飲食スペースを兼ねた大型テントやパラソル等を設置する。
便益施設	<ul style="list-style-type: none">・仮設の屋外トイレを設置する。

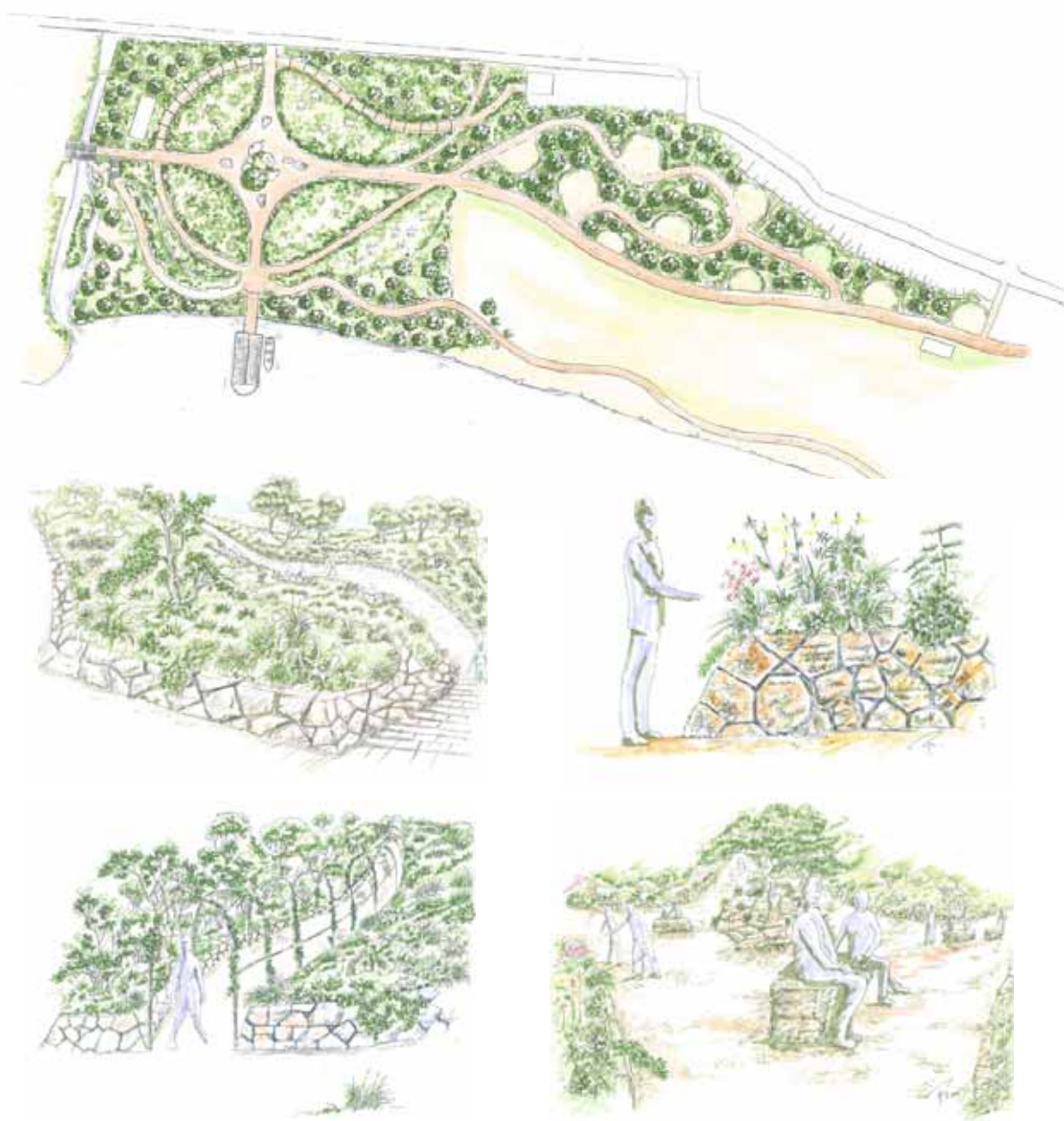
出会いのゾーン（じげ市場） イメージスケッチ



お花畑会場：ナチュラルガーデンゾーン

構成内容	
ナチュラルガーデン 【主催者展示】	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取の風土に合う郷土の植物と宿根草、多年草、球根を中心に著名なガーデンデザイナーであるポール・スミザー氏監修のテーマガーデン。 ・豊かな自然と風土が創出したジオパークで「自然の力を借りて、植物の特性を活かし、より自然に見せる」をテーマに、草花の重なりや葉のコントラスト、咲き終えた草花までも魅力的に見せるナチュラルガーデンを展開する。
会場修景	・フェア期間限定でガーデンを補完する会場修景を展開する。
休憩施設	・ガーデンを見ながら休憩できるベンチやパラソル等を設置する。

ナチュラルガーデンゾーン（ナチュラルガーデン） イメージスケッチ



お花畑会場：みどりのまちゾーン

構成内容	
みどりのまち 【企業・団体、学校、 県民・市民出展】	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの鳥取のまちづくりをテーマに、大小様々な出展スペースに緑の専門家である企業・団体や一般の企業・団体、大学や高校、県民・市民のグループや個人など多彩な主体による出展空間。 ・緑化技術の出展やまちづくりへの提案やアイデア、造園技術を駆使した出展など参加者自らが考えるこれからの鳥取を表現し、アイデアと技術を競う。
鳥取に似合う花緑 【企業・団体(植物) 出展】	<ul style="list-style-type: none"> ・草花をはじめとした植物の生産者によるテーマ型出展。 ・生産、供給する立場の企業や団体が鳥取に似合う植物を提案する。
故郷の花模様 【自治体出展】	<ul style="list-style-type: none"> ・とっとりフェアの植物のテーマともいえる「郷土」をキーワードとしたフェアの理念に賛同する全国各地の自治体による出展。 ・各自治体の郷土の植物が植物で描かれる模様花壇が主園路沿いにリズムよく配置され、会場に彩りを添える。
会場修景	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンの雰囲気をもっと補完し、出展に添える草花修景を行う。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・木立や出展空間に休憩用のテントやベンチ等を設置する。

みどりのまちゾーン（みどりのまち） イメージスケッチ



お花畑会場：緑花の輪ゾーン

構成内容	
緑化の輪 【協働展示】	<ul style="list-style-type: none"> ・開催1年前から様々な活動を行う協働推進事業参加者が制作・管理・運営までを手がける協働のゾーン。 ・参加者による実践ガーデンがゾーンを修景し、ゾーン内の広場を活用し、花と緑の催事や地域の催事が展開される賑わいと交流のゾーン。
神話の庭 【学校出展】	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の空間に子供達の自由な発想で彩られた立体花壇による会場修景を行う。 ・立体花壇は、因幡の白兔に代表される鳥取東部の神話に登場する動物をモチーフとする。 ・湖山池周辺の小学校、中学校に参加を募り、モチーフ選びからカラーリング、植付けまでの協働を基本にした学校参加型出展として位置づける。
グリーンスポット 【協働スペース】	<ul style="list-style-type: none"> ・参加体験催事や講習会などを開催する協働スペース。 ・緑の専門家や市民講師、著名な講師による花や緑と関わるきっかけをつくる場。
グリーンカフェ 【飲食物販】	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の小休止ができる場所として、湖山池のランドスケープに浸りながら軽食を販売するカフェを設ける。 ・ハーブや草花から作る食べ物など植物と食との関わりをスマートに振舞うカフェを目指す。
学びの社【参加者出展（屋内）】	<ul style="list-style-type: none"> ・お花畑会場の中間点にあたる学びの社は、県民、市民の個人やグループを対象にした屋内参加者出展、主催者による県内市内の都市公園や見どころを紹介するネットワークブース、企業・団体による環境技術紹介ブースなどを展開する。 ・期間ごとにかわる参加者出展は、参加者による日頃の成果発表の場であり、多彩な出展作品は来場者の目を楽しませると共に実践へのきっかけづくりともなる。
会場修景	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の草花と色鮮やかな一年草を園路沿いや高木の足下に配し、実践ガーデンや交流で賑わう空間、くつろぎの空間に彩りを添える修景を行う。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・木立や池の畔に湖山池の水面を眺めながらゆったりくつろぐことのできるパラソルやベンチ等を設置する。

緑花の輪ゾーン（緑花の輪） イメージスケッチ



緑花の輪ゾーン（グリーンスポット・グリーンカフェ） イメージスケッチ



お花畑会場：花の畔ゾーン

構成内容	
芝生と砂の庭 【主催者展示】	<ul style="list-style-type: none"> ・会場から望む水面と青島、遠景の山々を背景に鳥取の「砂」と草花による庭園を創出する。 ・緩やかな砂の丘を築山に見立て、特徴的な砂地の植物に郷土の草花、一年草を添え、全国有数の産地でもある鳥取の「芝」とのコントラストが美しい庭園。
会場修景	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の草花と色鮮やかな一年草、砂地の植物による多様な植物を技法を用いながら園路沿いや出展、高木の足下に自然に添える修景を行う。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・木立や出展空間に休憩用のテントやベンチ等を設置する。

花の畔ゾーン（花の畔） イメージスケッチ



青島会場：集いのゾーン

構成内容	
グリーンスポット 【協働スペース】	<ul style="list-style-type: none"> ・青島の自然を活用したフィールド催事の起終点となる場であり、子供やファミリーで楽しめる参加体験催事や講習会などを開催する協働スペース。 ・多様な専門家や市民講師により、身近な自然の再発見や水質などの環境を考えるきっかけをつくる場。
グリーンカフェ 【飲食物販】	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の休憩スポットとして、郷土の食べ物やハーブや植物から作る飲食などを楽しむ飲食物販空間。
会場修景	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の広場の縁や林縁に草花を配し、空間に彩りを添える会場修景を行う。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩や飲食もできるテントやパラソル、ベンチ等を設置する。
ステージ	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のステージを利用し、催しスペースとして活用を図る。

集いのゾーン イメージスケッチ



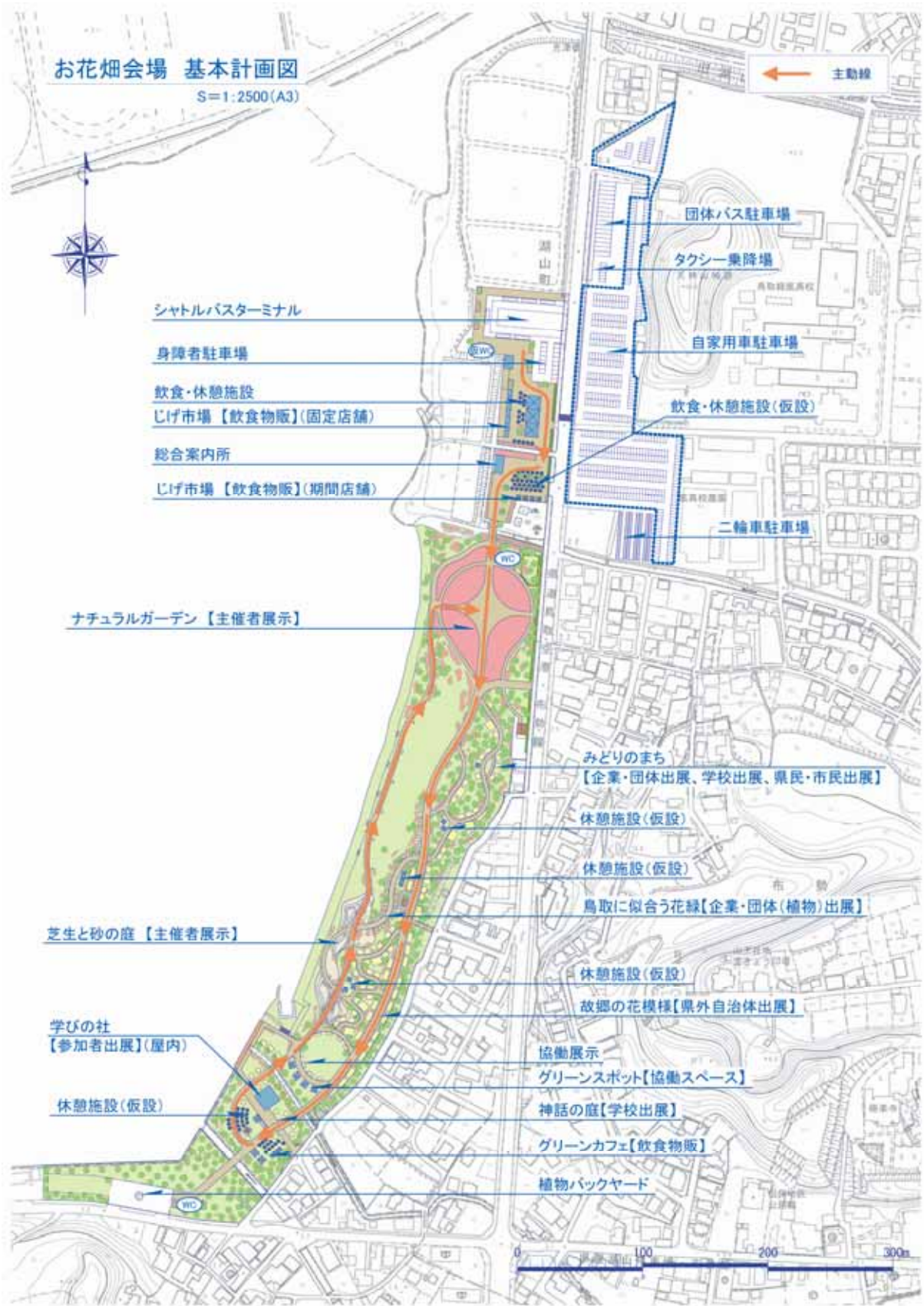
青島会場：調和のゾーン

構成内容	
催事フィールド	<ul style="list-style-type: none"> ・青島全体をフィールドとして子供やファミリーで参加できる自然体験催事の場。 ・フィールド催事は、展望台へのトレッキングや青島の植物を観察するオリエンテーリング、大木を利用した木登りやツリーハウスなど多様な専門家や団体の参加を募り、協賛協働で行うことを基本とする。 ・フィールド催事への参加参画から、身近な自然の再発見や水質などの環境を考えるきっかけづくりのほか、都市公園の利活用モデルとしての役割を担う。
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の広場に休憩等に活用できるテントやベンチ等を設置する。

調和のゾーン 催事イメージ写真



(8) 会場計画図
お花畑会場基本計画図



青島会場基本計画図



２．植物調達監理計画

(１) 計画方針

鳥取県内の植物の生産状況や特徴を踏まえながら、安定的な供給を図るために、会場で使用する草花に関する生産調達、施工、維持管理などの総合的な進行監理体制を整える。

植物調達は、一般に流通する植物生産に支障をきたさないこと、安定的で品質の高い植物を効率的に供給すること、県内の花き振興の活性化を目的に、鳥取県内の生産団体等による植物生産調達体制を整える。

とっとりフェアの基本方針に沿って、緑化に関する知識を深めることができるように植物情報の提供や解説などの植物関連サービスの充実を図る。

環境負荷低減を目指すフェアとして、植物残渣の堆肥化や廃棄物の低減を念頭においた取り組みを検討・実施する。

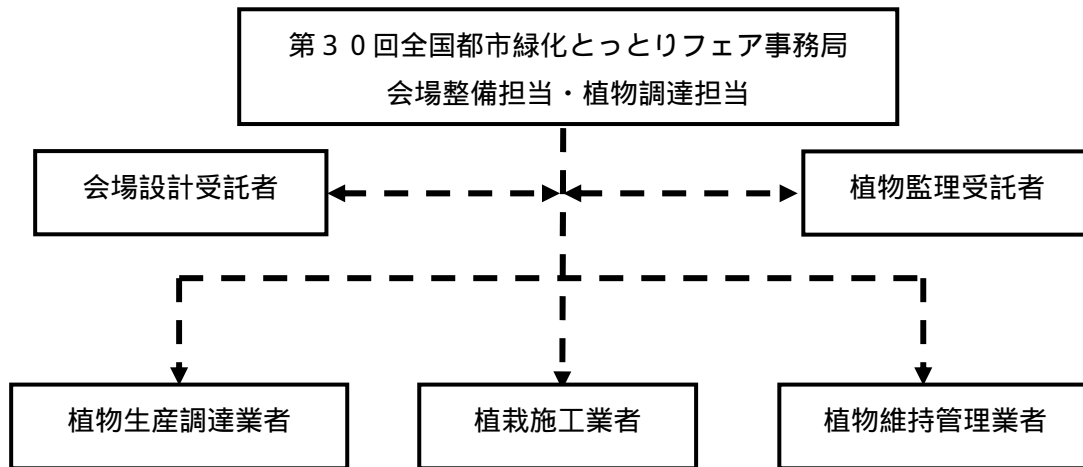
(２) 植物監理体制

植物調達から植栽施工、植物維持管理については、フェアに係る他の業務分野（会場建設、会場運営）との調整を行いつつ、植物に係る全体業務の進行管理を行う必要がある。

植物監理体制は「植物調達」「植栽施工」「植物維持管理」を一貫して監理するものとして、効率的かつ安定した植物調達と確実な植栽施工及び、会場全体における効率的な植物維持管理の実施を目指すものである。

植物監理体制はフェア事務局・植物監理業者が中心となり、「植栽設計」「植物調達」「植栽施工」「植物維持管理」の各業務における代表者（責任者）と円滑な実施を調整できる体制を確立する。

* 植物監理体制（案）



（役割）

第30回全国都市緑化とっとりフェア：植栽設計、生産調達、植栽施工及び維持管理等の発注、全体事業調整

会場設計受託者：植栽設計・設計監理

植物監理受託者：植物に係る全体進行管理、植物調達、植栽施工、維持管理の監理監督

植物生産調達業者：使用植物の生産調達

植栽施工業者：会場全体の屋外における植栽施工

植物維持管理業者：会場全体の屋外における植物維持管理

（3）植物調達

基本的な考え方

植物調達は、一般に流通する植物生産に支障を生じさせずに、安定的で品質の高い植物を効率的に供給することを目的とする。

植物調達は、鳥取県内の生産団体等で構成する植物生産調達体制を整えるとともに、設計と生産状況の調整や会場への搬入を円滑に推進する効率的な管理体制の構築を行うものである。

フェアでの植物調達では、県内の生産状況や園芸産業の振興、都市緑化、今後の緑化に導入すべき植物等の観点から植物種及び品種を選定・協議し、会場植栽計画に厚みを持たすことも重要な要素の一つである。

植物調達の範囲は、主催者が植栽する修景植物及び出展参加のルールに基づき、各出展参加者に主催者が供給する植物の2つに大別し、対象植物は、原則として、主催者が県内の生産団体や生産者に生産・調達を委託する。

植物調達体制

会場基本設計の立案とあわせて早期に品種別の数量を確定するとともに、植物生産調達体制の確立を図る。

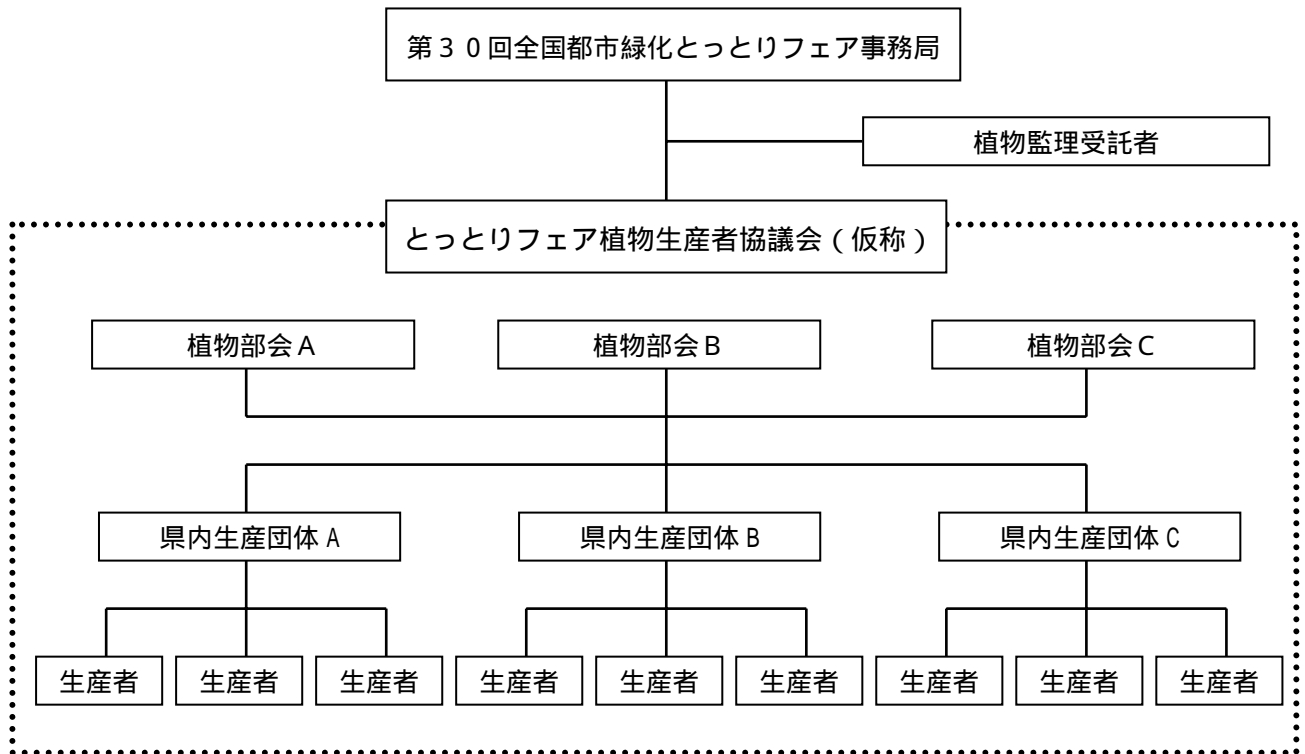
植物の生産・調達は、会場設計及び植栽施工計画に合わせた生育ステージで生産することを原則とし、早期に植物調達体制を確立し、生産準備を実施することが必要である。

植物生産調達は、2段階の発注とし、会場基本設計段階の数量に基づき早期養生植物を発注し、その後の実施設計の進捗とあわせて一般修景植物の委託発注を行う。

植物生産調達を行うことで品種や生産規格・特記仕様・時期・数量などフェアに即した確実な生産・調達が可能となる。

調達植物の納品・検収は、会場近隣に設ける植物管理ヤードにて実施し、品種等に応じた仕様（ポット径・草丈・葉張りなど）に見合う植物を検収の上、受領する方式とする。

* 植物調達体制（案）



植物調達区分と分類

調達区分	調達植物の内容	調達する事業区分			
		公園整備 事業	フェア事業		
			植物調達 事業	会場整備 事業	参加者 出展事業等
公園整備工事による植物 (植栽)	樹木(高中低木、特殊 樹木)・草花・芝生等		×	×	×
会場の骨格となる一般造 園材料等の植物	樹木(高中低木)・芝生 等		×		×
会場のベースとなる景観 を演出する植物	一・二年草・宿根草・球 根類・特殊樹木・ツル 植物等	×		×	×
フェア会場における大 量・多品種、特殊な規格・ 品種等の植物		×		×	×
自治体出展の使用植物 学校、県民市民出展植物		×		×	×
上記以外の出展にかかわ る植物		×	×	×	
造形物等の展示物と一体 的な施工が不可欠な植物		×			×
主催者主体の催事等で使 用する植物		×		×	×
参加者主体の催事等で使 用する植物		×	×	×	

(4) 植物施工

一・二年草・宿根草・多年草・球根等については、原則として主催者が材料を調達し、施工者・出展参加者に支給する「材料支給型」を基本とする。

フェアでは大量多品種の植物を扱うため、会場計画におけるゾーン設定や植栽計画に応じ、複数の工区に区分し施工することを基本とする。

植栽時期は、平成25年5月～6月の「早期植栽」、8月～9月の「オープン植栽」、会期中旬（10月）の「ローテーション植栽」の3期を基本とする。

大量多品種の植物を一定期間内で納品・検収し、施工工区別に分配・引き渡しを行うため、一定規模の植物管理ヤード「植物バックヤード」を会場近隣に設ける。

植物バックヤード（案）

- ・植物バックヤードは、管理ヤードの土地利用を勘案し、植栽時期ごとに1～2箇所の植物バックヤードを設ける。
- ・最も植物数量が多い「オープン植栽」・「ローテーション植栽」の2期には、お花場会場及び青島会場にそれぞれバックヤードを設ける。
- ・植物数量が少ない「早期植栽」については、お花畑会場のバックヤードで一元的に管理する。
- ・植物バックヤードの機能及び必要な施設は下表を基本とする。

主な機能と内容	必要な施設及び規模	備考
植物の搬入 植物の検収、仕分け 引渡し及び搬出 植物の養生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・植物ストックヤード 面積：搬入株数÷40（株/m²） ・搬出入路（大型車対応） 規模：W6.0m ・管理通路（普通車対応） 規模：W3.0m 	
植物関連資材の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・資材置き場 規模：100 m²以上 ・ビニールハウス 規模：150 m²程度 	
植物残渣置き場	<ul style="list-style-type: none"> ・残渣置き場 規模：100 m²以上 	
植物監理に関する会議等 数量管理等の管理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・植物管理棟 規模：40 m²程度 	・運営本部棟に併設

植物バックヤード配置（案）



（５）植物維持管理

植物維持管理は、植物調達管理監督員及び植物監理受託者の指導のもと、維持管理委託業者による維持管理を基本とする。

維持管理は、植物を常に良好な状態に保つために巡視点検、灌水、花ガラ摘み、病虫害防除、施肥、除草、切り戻し・誘引、草刈り、植栽地内の清掃等を実施する。

維持管理の内、花ガラ摘み、植栽地内の清掃、除草等の簡易な管理作業については、花緑ボランティアの主な作業とする。

花緑ボランティアの運営管理については、募集及び事務管理を行う会場運営と連携し、作業管理等の現場運営は、植物監理受託者が行う。

維持管理作業者については、維持管理作業のパフォーマンスとして実施することや来場者の接遇を理解し、ユニフォームの統一や来場者の質問対応も行う。

(6) 植物運営計画

来場者に対し、使用される植物に係る情報や緑化知識の普及啓発を行うために、植物サインや詳細な植物解説サイン等を設置し、植物情報を提供する。

植物サイン：使用植物全種の「植物プレート」の設置

設置数量は、ゾーンの植栽計画、植物使用数量に応じて設定する。

植物解説サイン：会場のリアルタイムな花緑の見ごろ情報や解説を示す「見どころサイン」の設置

会場運営との連携を図りながら、花緑に関する知識及び緑化意識の向上を目的としたサービスとして、園芸相談の開催や花緑ボランティアの指導・サポートを行う。

園芸相談の運営：相談員の選定、調整、相談所の開催運営・調整等

花緑ボランティアの指導・サポート：ボランティアの作業管理、指導等

(7) 植物撤去計画

フェアで仮設的に展開する花壇修景に使用した植物については、植物の特性を見極めながら、会場内や市内、県内の公共施設等への移植などへ再利用する。

3. 展示・出展計画

(1) 計画方針

とっとりフェアの基本理念及び基本方針、計画方針を踏まえた多様な展示・出展を展開する。会場計画と連携し、今後のまちづくりに寄与するテーマ性を持った主催者による展示空間や多様な出展参加者の考える「鳥取らしさ」があふれる出展空間を創造する。

また、とっとりフェアの展開に大きな力を発揮する県民・市民と主催者による「協働展示ゾーン」を設け、協働推進事業と連携し、主催者と共に実践するゾーンの企画・制作・運営管理を「協働展示」として位置づける。

フェアの展示・出展に際しては、主催者、参加者とも環境負荷低減への取り組み、協力の徹底を図る。

主体	区分	適用
主催者	主催者展示	主催者による屋外に展開するテーマガーデン等
参加者	参加者出展 (屋外)	自治体、企業・団体、学校、県民・市民等による出展参加庭園等の作品等
	参加者出展 (屋内)	花と緑の愛好者団体等による屋内の装飾作品等
主催者・参加者	協働展示	人材育成事業による会場内の実践ガーデン等の取り組み

(2) 主催者展示計画

計画方針

ポール・スミザー氏監修によるナチュラルガーデンをはじめとし、鳥取県や鳥取市の文化や風土、ジオパークの自然景観等を効果的に取り入れた魅力的な主催者展示とすると共に、展示に使用する植物、施工方法や技術などにも解説を加え、情報の発信を図る。

主催者展示の概要

会場	ゾーン名称	展示名称	概要	規模
お花畑会場	ナチュラルガーデンゾーン	ナチュラルガーデン	全国的に著名なガーデンデザイナーであるポール・スミザー氏監修の主催者によるテーマガーデン 宿根性・多年性の植物、球根類、郷土の植物による鳥取の気候・風土を活かし、身近な野山の草花などの美しさを再発見し、植物の持つ力の魅力を体感できる「鳥取流緑化スタイル」のモデルガーデン	10,000 m ²
	花の畔ゾーン	芝生と砂の庭	芝生・砂・植物による世界有数の砂丘を有し、全国有数の芝生産地である鳥取らしい展示を展開する。 青々とした芝生の中に、近年、注目を集める砂像と植物や砂地の植物と草花などのコラボレーションガーデンを展開する。	5,000 m ²

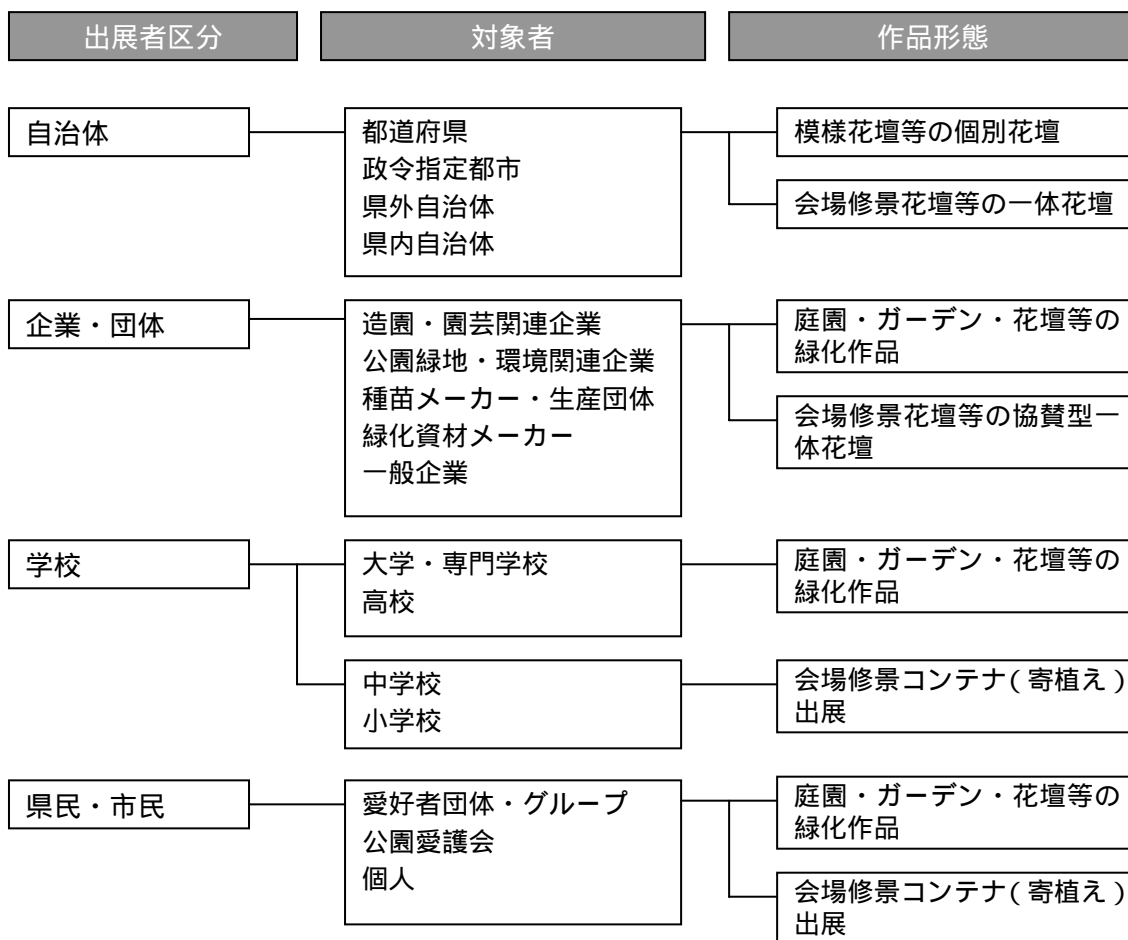
(3) 参加者出展(屋外)計画

計画方針

とっとりフェアの基本理念及び基本方針に沿って、企業・団体を中心に、自治体、学校、県民・市民などの幅広い参加者による出展を促す。

出展の対象については、出展テーマを踏まえながら、緑化や花の装飾などに関連する作品、技術、製品、植物のほか、日常的な緑化活動など今後の鳥取のまちづくりに繋がる幅広い出展を展開する。

参加者出展(屋外)の区分



参加者出展（屋外）の概要

会場	ゾーン名称	出展区分	出展形態	概要	規模
お花畑会場	みどりのまちゾーン	企業・団体 学校（高校・ 大学） 県民・市民	庭園 ガーデン 花壇等	名称：「みどりのまち」 鳥取の花や緑あふれ、潤いのあるまちづくりへ繋がる出展 県内企業・団体等の専門家や愛好家、ランドスケープや造園等を学ぶ高校・大学生、県民・市民による提案型出展	40～50 m ² ×10 区画 20～30 m ² ×15 区画 10～20 m ² ×25 区画
		企業・団体(種 苗メーカー・ 生産者)	植物出展	名称：「鳥取に似合う花緑(はなみどり)」 植物を供給する種苗メーカーや生産者からの今後の鳥取のまちづくりへ繋がるテーマ型の植物出展 屋外展示内に展開するスポット型出展	3～5 m ² ×50 区画
		自治体（都道府 県・政令指 定都市・県外 自治体）	模様花壇	名称：「故郷の花模様」 フェア会場の植物の骨格をなす郷土の草花や砂地の植物、一年草等を使用し、各地域の日本各地の故郷の花や緑を表現する模様花壇	30～40 m ² ×20 区画
	緑花の輪ゾーン	学校（主会場 周辺の中学 校・小学校）	立体花壇	名称：「神話の庭」 鳥取県東部の神話「因幡の白兔」をモチーフに、兎形の立体花壇を子供たちが草花でカラーリングする楽しくカラフルな出展	12 箇所

「みどりのまち」イメージ



「鳥取に似合う花緑（はなみどり）」イメージ



「故郷の花緑」イメージ



「神話の庭」イメージ



会場	出展形態	出展区分	概要	規模
会場 全域	修景コンテナ	学校（中学校・小学校） 県民・市民	会場の各ポイントの修景に用い、ナチュラルガーデンに使用される郷土の植物やシンボルフラワー、色鮮やかな一・二年草による寄植えコンテナ花壇	150 個程度
	ハンギングバスケット	県民・市民	会場の仮設建築物等への修景を県民・市民手作りのハンギングバスケットにより展開する	150 個程度

修景コンテナのイメージ



参加者別出展概要及び出展方法

【企業・団体】

会場	出展名	出展概要	出展方法等
お花畑会場	「みどりのまち」	鳥取が花や緑であふれ、潤いのあるまちづくりへ繋がる出展 県内企業・団体等の専門家による提案型出展 〔出展テーマのイメージ〕 ・まちの緑を支える居住空間や街角のタウンガーデン ・郷土植物等を使用した鳥取県・市の風土文化をテーマとした出展 ・とっとりナチュラルガーデン 等	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者が設定する出展ルールに沿って参加出展する。 ・主催者が設定する 10～50㎡の3種類の区画規模及び位置を出展参加者が選択する。 ・出展者により、コンセプト、デザイン、材料手配調達、製作、維持管理、撤去を行う。
	「鳥取に似合う花緑(はなみどり)」	植物を供給する種苗メーカーや生産者からの今後の鳥取のまちづくりへの繋がるテーマ型の植物出展 屋外展示内に展開するスポット型出展 〔出展テーマのイメージ〕 ・鳥取に似合う植物	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者が設定する出展ルールに沿って参加出展する。 ・出展位置は、主催者が設定し、植付け、撤去等の作業も主催者が行う。 ・植物の開花時期等にあわせ出展期間を会期の前期・後期に区分する

【自治体】

会場	出展名	出展概要	出展方法等
お花畑会場	「故郷の花模様」	自治体（都道府県・政令指定都市・県外自治体）による個別出展 ナチュラルガーデンに使用する郷土の植物や砂地の植物を使用し、各地域の故郷の花や緑を表現する模様花壇	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金による参加出展 ・主催者が設定する出展ルールに沿って参加出展する。 ・出展者により、コンセプト、デザイン、材料選定を行う。 ・出展者のデザインに沿った設計、材料調達、植付け、撤去等の一連の作業は主催者が行う。

【学校】

会場	出展名	出展概要	出展方法等
お花畑会場	「みどりのまち」	鳥取の花や緑あふれ、潤いのあるまちづくりへの繋がる出展 ランドスケープや造園等を学ぶ 高校・大学生による提案型出展 〔出展テーマのイメージ〕 ・まちの緑を支える居住空間や街角のタウンガーデン ・郷土植物等を使用した鳥取県・市の風土文化をテーマとした出展 ・とっとりナチュラルガーデン 等	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者が設定する出展ルールに沿って参加出展する。 ・主催者が設定する 10～50 m²の3種類の区画規模及び位置を出展参加者が選択する。 ・出展者により、コンセプト、デザイン、材料手配調達、製作、維持管理、撤去を行う。
	「神話の庭」	鳥取県東部の神話「因幡の白兎」をモチーフに、兎形のトピアリーを使用し子供たちの発想によるカラフルな出展	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインを生徒が考え、植付け作業は、会場参加で行う。 ・出展配置、材料選定、材料調達、設置撤去の作業は主催者が行う。
会場全域	修景コンテナ	会場の各ポイントの修景に用いるナチュラルコンテナ制作 ナチュラルガーデンに使用する郷土の植物やシンボルフラワー、色鮮やかな一・二年草による寄せコンテナ花壇	<ul style="list-style-type: none"> ・材料選定、植付けは小中学生が行う。 ・出展配置、材料調達、設置撤去の作業は主催者が行う。

トピアリーとは樹木や低木を刈り込んで作成される造形物。動物をかたどったり、立体的な幾何学模様を造る。

【県民・市民】

会場	出展名	出展概要	出展方法等
お花畑会場	「みどりのまち」	鳥取が花や緑であふれ、潤いのあるまちづくりへ繋がる出展 人材育成事業に参加する県民・市民による実践ガーデン 〔出展テーマのイメージ〕 ・まちの緑を支える居住空間や街角のタウンガーデン ・郷土植物等を使用した鳥取県・市の風土文化をテーマとした出展 ・とっとりナチュラルガーデン 等	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者が設定する出展ルールに沿って参加出展する。 ・主催者が設定する 10～50㎡の3種類の区画規模及び位置を出展参加者が選択する。 ・出展者により、コンセプト、デザイン、材料手配調達、製作、維持管理、撤去を行う。
会場全域	修景コンテナ	会場の各ポイントの修景に用いるナチュラルコンテナ制作 ナチュラルガーデンに使用する郷土の植物やシンボルフラワー、色鮮やかな一・二年草による寄せコンテナ花壇	<ul style="list-style-type: none"> ・材料選定、植付けは県民・市民が行う。 ・出展配置、材料調達、設置撤去の作業は主催者が行う。
	ハンギングバスケット	会場の仮設建築物等への修景を県民・市民手作りのハンギングバスケットにより展開する	<ul style="list-style-type: none"> ・材料選定、植付け、設置は県民・市民が行う。 ・出展場所の選定は主催者が行う。

(4) 参加者出展(屋内)計画

計画方針

県内の幅広い花と緑の愛好団体や生産団体等による花と緑の装飾作品や、加工作品、切花、鉢花等の多様な県民・市民の参加、湖山池の環境(水質等)をテーマとした企業・団体の参加を展開する。

屋内の参加者出展作品については、設営した出展参加空間の中に数日間から一週間程度の入替え方式により展示する。

また、全県ネットワークの一環として県内の都市公園や名所の情報(位置図・パンフレット等)を来場者に提供する主催者ブースも併設する。

屋内出展施設の考え方

屋内の参加者出展施設については、お花畑会場に設ける仮設屋内施設を活用する。

出展施設内では、企業・団体を主体とした「ブース出展」と県民・市民を主体とする「個別出展」に大別する。

(5) コンテスト計画

基本方針

日頃の緑化技術や活動などを、全国的な視点から評価顕彰し、その技術や活動の情報発信と一層の緑化推進につながる内容とする。

様々な出展を可能な限りコンテストの対象とし、質の高い出展参加を促すとともに、優秀な作品を表彰することで緑化意識の高揚を図る。

全国的な見地からの専門家による審査のほか、鳥取県内の専門家による審査や来場者による人気投票など、興味を喚起する方法を導入する。

コンテストの概要

屋外の参加者出展作品のうち、全国からの企業団体・高校・大学・県民市民等の出展参加を対象として作品の質の向上を図るとともに、公の評価顕彰を通じて知識・技術の普及や産業振興等につながるようにコンテストを実施する。

出展参加に関するコンテストは、(財)都市緑化機構が設けるコンテストガイドラインを参考に「とっとりフェア」の考え方に沿った審査体系・方法とする。

コンテストの表彰については、国土交通大臣賞をはじめとした多彩な関連表彰、実行委員会による顕彰を実施する。

また、来場者人気投票など自治体個別出展作品や学校(小学校・中学校)、県民市民のコンテナ作品等へも主催者独自のコンテスト形態による表彰を行う。

コンテスト及び賞の種類(例)

種類	出展形態	対象者	賞の内容
屋外の参加者出展コンテスト	一定規模の個別出展作品	企業・団体、学校(高校・大学)、県民・市民	主催者表彰及び関連表彰
自治体出展コンテスト	自治体の個別出展作品	都道府県、政令指定都市 県外自治体	主催者表彰及び関連表彰
来場者人気投票	植物出展、特殊出展等を除く会場に展開するすべての出展作品	自治体、企業・団体、学校(高校・大学)、 県民・市民	主催者表彰
コンテナコンテスト	学校(小学校・中学校)・ 県民市民の出展	学校(小学校・中学校) 県民・市民	主催者表彰

4．会場運営計画

(1) 基本方針

お花畑会場については会期全日に渡り実行委員会が運営し、フィールド催事会場となる青島会場、式典会場については実行委員会が施設等を占有するエリア及び期間に関して運営を行う。

会場では快適で安全な空間を提供するとともに来場者がフェアの開催趣旨にふれ、緑化活動の実践につながるような会場サービスや会場管理を行う。

鳥取県・鳥取市におけるボランティア活動の実績などを踏まえながら、フェア後の緑化活動の人材育成を念頭に置いたボランティアの育成や活用を図る。

(2) 計画方針

フェアにかかわる様々な場所で県民・市民との協働により、フェアを盛り上げ、多くの来場者、リピーターの獲得を目指し、ホスピタリティあふれる会場運営・管理を目指す。

全国都市緑化フェアとして来場者から必要とされる情報を正確に伝え、案内できる質の高いサービスの提供に資する運営体制やフェア会場を安全・快適に楽しめる会場管理体制の構築を目指す。

質の高い来場者サービスをボランティアでも実施可能にする仕組みづくりや、多くの県民・市民がフェアに参加できる体制の構築など、参加者も満足度が高いフェアを目指す。

ボランティア情報の一元管理を行うボランティアサロンを基点に、ボランティア参加者への付加価値のある事前研修プログラムや、中学生・高校生対象の運営業務体験プログラムの運営、学校、施設など団体客向けのガイドおよび参加プログラム案内等、フェアの「楽しみ」「面白さ」を伝える幅広い運営・管理を展開する。

環境負荷低減の取り組みの一環となる会場の美化活動を踏まえた会場管理を通じて来場者もフェアの一員として参加意識を持てる仕組みづくりを行う。

(1) 運営の基本単位

全体入場者数

とっとりフェアの入場者数は、お花畑会場や青島会場（フィールド催事会場） 式典会場で30万人の入場を見込む。

お花畑会場・青島会場（フィールド催事会場）計画入場者数

計画基準日の入場者動態は次のように予測する。

計画基準日入場者数	同日同時の滞在率	計画入場者数
14,900人	35%	30万人

開場時間

開場時間は、来場者の快適な観覧・安全、臨時駐車場の利用可能時間（日照時間）、フェアの人員配置、植物のメンテナンス等を考慮し、次のように設定する。

会場名	会場時間	備考
お花畑会場 青島会場 (フィールド催事会場)	【開会日～10月】 9:30～17:00(最終入場16:30) 【11月～閉会日】 9:30～16:30(最終入場16:00)	フィールド催事会場は、土日祝のみ運営
式典会場	事業主体の会場時間に準拠する。	休館日第3火曜
サテライト会場		
まちなかスポット		

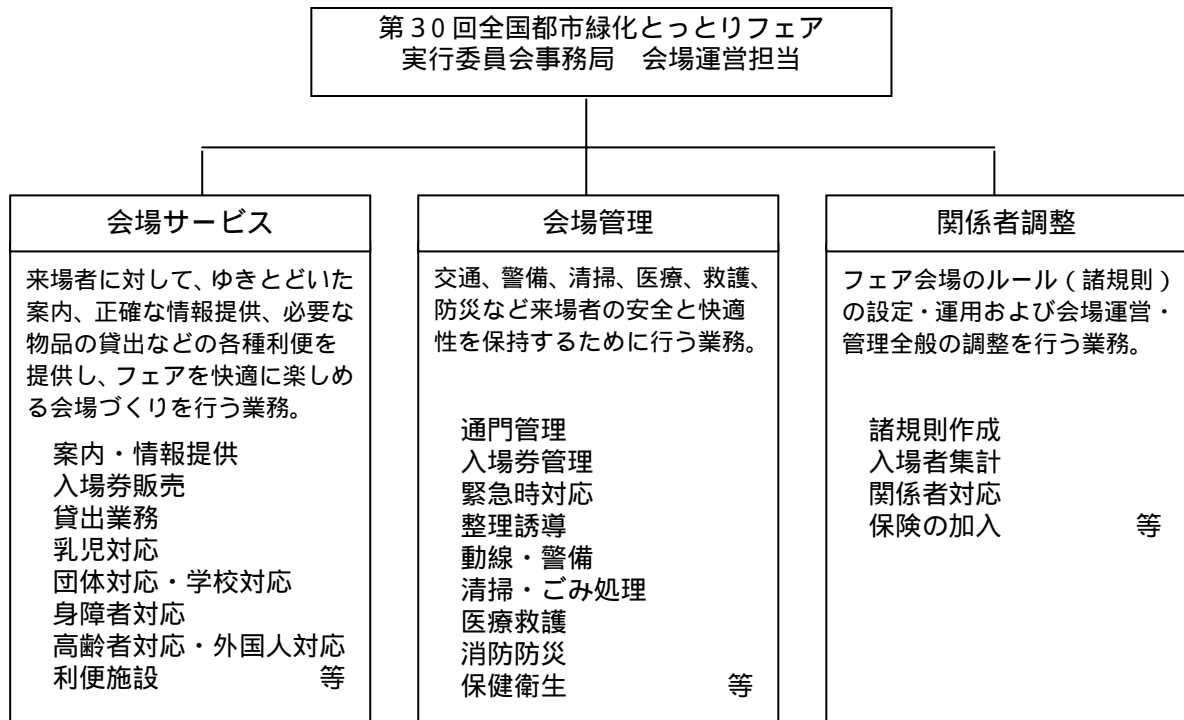
管理区分等

フェアの管理責任の範囲を明確にするため、管理区分や区域、管理期間を設定し、既存事業主体と調整、連携する。

会場名	管理主体	管理区分・範囲等
お花畑会場 青島会場 (フィールド催事会場)	実行委員会事務局	会場設定範囲内、ターミナル、関係者駐車場、バックヤード、臨時駐車場の敷地内等 フィールド催事会場は、土日祝のみ
式典会場	既存事業主体	フェア行催事日の使用会場内
サテライト会場		設定なし
まちなかスポット		

(2) 会場運営の区分

会場運営業務は、来場者が快適に楽しめる会場を提供する「会場サービス」業務と来場者の安全、快適性を保持する「会場管理」業務、フェア会場のルール設定と運用など運営管理全般の調整を行う業務の3つに大別する。



(3) 運営基本項目

会場サービス

項目	内容	対応		備考
案内・情報提供等	事前・時間外の電話、HP 等による会場案内・交通・観光情報等の提供 開場時間内の会場マップ配布、会場案内・参加プログラム等の各種案内・交通・観光情報等の提供	事前・時間外は、情報センタースタッフ対応 開場時間内は、スタッフ、サービスボランティア対応	情報センター（本部）設置 総合案内所（お花畑）設置 臨時案内所（青島）設置	Q&A 作成 通信システムの整備・検討 指定管理者の情報共有 関係者への情報周知方法を検討
入場券販売	入場券の販売及び管理 来場者への情報提供	事務局本部・スタッフ対応	券売所（お花畑）設置	入場券関連サービスへのボランティア対応はなし
貸出業務	車いす、ベビーカー等の貸出	サービスボランティア対応	貸し出しスペースを総合案内所・案内所に確保	レンタル品又は協賛品での対応を検討 自転車レンタルは期間中廃止
乳児対応	授乳場所、ベビーベット等の設置	スタッフ・ボランティア対応なし	授乳室等を総合案内所・案内所に併設	対応備品検討 レンタル品又は協賛品での対応を検討
団体対応	視察対応、バス駐車予約、食事場所、集合場所の案内等の事前及び期間中の対応	事務局本部対応又はスタッフ対応		対応期間、窓口の設置、雨天時の検討
学校対応	視察対応、食事場所、集合場所、参加プログラムの案内等事前及び期間中の対応	事務局本部対応又はスタッフ対応		窓口の設置、雨天時の検討
身障者等の対応	ケア対応、案内ガイド、手話通訳、迷い人の対応等の案内	サービスボランティア又はスタッフ対応	総合案内所・案内所対応	車いす動線の整理
外国人対応	外国人来場者の通訳、会場ガイド等の案内	サービスボランティアによる対応	総合案内所・案内所対応	対応語学を検討（英、中、韓など） 会場マップ作成の検討
VIP 対応	特別来場者の案内対応	事務局本部対応		VIP の種類、担当の取り決め、接遇レベルの整理
利便施設	ロッカー、自販機、郵便局、宝くじなど設置	通常フェア並みの対応	総合案内所周辺に設置	公園内施設と調整

会場管理

項目	内容	対応	備考
通門管理・誘導	会期前から会期中、会期後の関係者、車両等の通門通行管理及び関係者駐車場等の管理対応 営業時間外車両誘導、営業時間中納品車両対応	警備対応 交通警備本部をお花畑ターミナルに設置 各会場の待機所設置	通門時間、禁止事項、持ち込み禁止物等のルール設定及び管理体制の設定
入場券管理	入場券の確認・管理 金銭管理	事務局本部・スタッフ対応 券売所（お花畑）設置	入場券に関する総合監理は、事務局本部選任職員を配置
緊急時対応等	クレーム対応 遺失物・拾得物対応 迷子・迷い人対応	スタッフ及びサービスボランティア対応 専用窓口は設置せず、総合案内所・案内所スペースで対応	
	不審者、地震、火事、落雷、停電、雨天、荒天、台風、パンデミック等への対応	事務局本部対応 緊急時の対策委員組織の設置、決定プロセスを決定し、ケース別に対応	
整理誘導	ゲート前、展示施設等の混雑時の対応 車いす、ベビーカー、納品台車、一般など各資料者ごとの対応	スタッフ及び警備対応	アーリーオープンの検討 待ち列動線の検討 ケース別動線計画
警備	通門管理・整理誘導・屋内外の展示出展物の管理等、車両・人の通門管理、雑踏整理の対応	警備対応	警察官立ち寄り所は総合案内所・案内所スペースで対応
清掃・ごみ処理	トイレ、廃棄物処理、集積所管理、ゴミの分別回収	清掃業者対応	通常の管理体制に付加
医療救護	医療救護体制を設定し、応急処置、病院への搬送対応、AED設置、看護師の配置等の対応	事務局本部、スタッフ、看護師対応 救護室等を総合案内所・案内所に併設	
消防防災	自衛消防隊、日常の防災体制（訓練等）の確立し、有事に対応	事務局本部、関係者、スタッフ	消防署立ち寄り所は総合案内所・案内所スペースで対応
保健衛生	ベットの入場、食中毒、インフルエンザなどの対応	事務局本部対応	緊急時対応と同様 管轄保健所の指導

その他調整業務

項目	内容	対応	備考
入場者集計	報道機関、関係者に発表するための公式数字を集計及び動向の把握	事務局本部	集計方法の検討
関係者対応	関係者証、駐車証、車両通行証発行等の関係者事務対応	事務局本部	通門管理規則等により区分、種類、期間等を設定
諸規則作成	出展参加、営業参加、催事参加、会場内の各種規則の制定 各部門との調整及び会場マニュアル、各種実務マニュアルの作成配布	事務局本部	
保険の加入	参加者との責任分担を明確にし、施設の損壊や人的被害に対する保険に加入する。	事務局本部	入場者、ボランティアに対する傷害、損害、動産保険など加入種別を検討

(4) 運営体制・運営要員

会期半年前を目標に会期中の管理運営を行う「(仮称)運営実施本部」をお花畑会場に設置する。運営実施本部は実行委員会事務局職員に加え、実行委員会事務局からの業務委託による各部門の担当者によって構成する。

既存公園管理者や式典会場の施設管理者との調整をおこない、管理責任を明確にして連携を図る。

会期半年前から来場者へ正確な情報提供ができるよう、駐車場、式典会場、会場となる2会場など各会場の情報が各関係者に正確かつスムーズにゆきわたるよう情報の共有を目的とした情報フローを構築する。

(5) 運営要員の配置

会場運営の実施体制は、実行委員会事務局内に会場運営担当部署を設置し、業務の専門性を考慮したスタッフやボランティアなどで運営体制を構築する。

開催中は事務局職員のみならず、所轄の警察署や消防署職員、その他部局の応援職員の協力を得て運営を行う。

実行委員会事務局職員 (鳥取県・鳥取市職員)	会場運営担当者 (委託先担当ディレクター)	会場運営スタッフ (スタッフ・ボランティア)
会場サービス担当職員	会場サービスディレクター ゲート券売所ディレクター	各種サービススタッフ 情報センタースタッフ ゲート・券売所スタッフ
会場ボランティア担当職員	ボランティアディレクター 花緑ボランティア(植物監理)とっとりフェアプロジェクト県民市民スタッフ(協働推進)については各担当課による業務管理	各種サービスボランティア 花緑ボランティア とっとりフェアプロジェクト県民市民スタッフ
会場管理担当職員 入場券監理職員	会場管理ディレクター 入場券管理ディレクター 会場警備責任者(隊長) 交通警備責任者 会場清掃責任者	入場券管理スタッフ 会場警備員 交通警備員 会場清掃員
	警察官・消防署員・看護師	
事務局本部	応援職員	

(6) 要員配置 (業務対応区分表)

区分	事務局職員	サービススタッフ	情報センタースタッフ	ゲート・券売所スタッフ	サービスボランティア	花緑ボランティア	会場警備	交通警備	会場清掃	警察官	消防署員	看護師	応援職員
案内所													
情報サービス													
入場券販売													
貸出業務													
団体対応													
身障者等対応													
外国人対応													
VIP 対応													
花緑サービス													
通門管理													
入場券管理													
クレーム対応													
迷子迷入対応													
遺失拾得													
整理誘導													
緊急時対応													
雨天荒天対策													

区分	事務局職員	サービススタッフ	情報センタースタッフ	ゲート・券売所スタッフ	サービスボランティア	花緑ボランティア	会場警備	交通警備	会場清掃	警察官	消防署員	看護師	応援職員
会場警備													
交通警備													
清掃													
医療救護													
消防防災													
保健衛生													
入場者集計													
関係者証発行													
諸規則作成													
保険の加入													